

制裁とコロナ禍との闘いで高く発揮された社会主義の優越性

ヨーロッパ・チュチェ思想研究会理事
ミコラ・ポーリシュク

周知のように、朝鮮革命と国際共産主義運動の発展において重大な政治的出来事となる朝鮮労働党第8回大会ではチュチェ110(2021)年1月5日から7日まで党中央委員会第7期活動報告があった。

金正恩総書記は9時間にわたって行った報告で、朝鮮労働党第7回大会後、収められた活動成果と欠点を分析し、今後の社会主義建設の方途を示した。

昨年以前には全くなかった深刻な特徴をもつ年であった。

朝鮮民主主義人民共和国に反対するもっとも極悪な(いわゆる「部門別」)制裁が加えられた上に、共和国は1年間台風の被害によって人民経済が大きな損失をこうむった。それに多くの力量と資金が悪性ウイルスとの闘争に支出された。このような各種の否定的状況がいつ頃に生まれたのは今回が初めてであり、国において深刻な挑戦となった。

前例のない難関は独創的な解決策を求めた。

朝鮮労働党の金正恩総書記はこうした障害物は社会主義制度の優越性をさらに高く発揮させていくとき、克服できると述べた。

金正恩総書記は人間があらゆるものの主人であり、すべてを決定するという科学的原理から出発して、自然と社会関係(経済関係を含む)を改造していく代わりに客観的条件にかこつける現象の害毒性について正しく指摘した。報告は新たな条件で党と国家の活動全般を新しい革新、大胆な創造、絶え間ない前進を志向し、奨励する方向へ確固と転換し、発展する現実の要求に即してすべての活動システムを効率的に改編するための対策を講じなければならないと指摘した。

周知のように、社会主義経済の優越性は、それが計画経済であるところにある。ゆえに、金正恩総書記は報告で新たな5ヵ年計画の作成に大きな関心を払った。総書記は朝鮮の国家経済は自立経済であり、計画経済であり、人民に奉仕する経済であると述べた。報告は特に国家経済の現況と潜在力に基づいて、持続的な経済上昇と人民の生活の明確な改善、向上へと進むことを目標として作成された新たな5ヵ年計画を提示した。新たな5ヵ年計画は、現実的可能性を考慮して国家経済の自立的構造を完備し、輸入依存度を下げ、人民の生活を安定させるための科学的な要求を反映している。新たな国家経済発展5ヵ年計画の基本種子、テーマは、依然として自力更生、自給自足である。

このように自力更生と自給自足に依拠した計画経済は、国際的な制裁とコロナウイルス感染症による国境封鎖による否定的な結果を癒すようになるであろう。

全世界的に制裁がアメリカとその同盟国の基本道具となっている今、国の自主権と自主性を守ることでできる唯一の方法は、経済において自力更生に関する主体的原則を堅持することである。金正恩総書記は社会主義経済管理の改善の根本要求、根本方向は、社会の主人である人民大衆を中心に据えて人民の要求と利益を優先視することであると述べている。報告で闡明されたこの革命的原則は朝鮮労働党だけでなく、自主の道に進む世界のすべての国の人民にとって切実なものとなる。

金日成主席は抗日革命闘争の時期、すでに自力更生をチュチェ思想の原則として示し、それ以来自力更生はその巨大な生命力を絶えず発揮してきた。

金正恩総書記は報告で、人民経済建設で科学に依拠することについて数回も強調したが、これもやはり現段階における朝鮮革命の特徴であるといえる。特に、金正恩総書記は報告で農業と、対外経済、国土管理、国防、地下資源の開発、利用、そして経済、生産及び国家管理の他の多くの分野で科学に依拠しなければならないと述べた。また、金正恩総書記は科学技術人材及び教員の育成で強い要求性を提起すべきであると強調した。

制裁により朝鮮が他国の技術を受け入れる上で制限を受けている条件で、技術的側面では他国に劣らないようにする唯一の糸口は、自力に基づいて科学の土台を発展させることである。経済的制裁や設備及び技術納入制限措置を通じて他国の政治に影響を及ぼそうと策動する大規模の独占会社にたいする技術的依存から脱することは、今多くの国の夢である。これと関連して世界的に、特にロシアでさまざまな国産化計画が実施され、奨励されているが、資本主義経済では効果がない。それは個人会社にとっては自分のものを発展させることに資金を支出するよりは、完成した科学技術製品を購入することがもっと得になるからだ。ただ単一の国家人民経済を運営している朝鮮民主主義人民共和国のみが科学分野で世界の先進国を追いつき、追いこしながら国家的な範囲で科学と生産を一致させることができる。科学は無人機、核潜水艦、ミサイルシステムのような高度技術武器をもって行う現代戦で非常に重要な先端武装装備を開発して国の自主権を守ることに寄与する。

朝鮮の社会主義制度の優越性はまた、2020年の自然災害の被害をいやす活動でも発揮された。朝鮮労働党は被害復旧を担当し遂行する首都党員師団を組織した。短期間に被害をいやすして数百棟の住宅を建設することにより、党と人民間の信頼関係がより強固なものとなった。金正恩総書記は咸鏡南道の新浦市と洪原郡をはじめとした東海地域の被害復旧現場を訪ね、建設を指導した。

金正恩総書記は直接蓄積した指導経験にもとづいて朝鮮労働党第8回大会の報告で国土環境の保護と関連する法規範と細則を正しく制定して厳格に施行する問題、治山治水事業に力を入れて自然災害を未然に防ぐ問題を提起した。これはすべてが自然保護活動を科学化してありとあらゆる災害からの被害を最小化するためである。自然災害の被害をいやすための闘争は、自然にたいする人間の勝利であるだけでなく、資本主義に比

べた社会主義の優越性の誇示でもあった。南朝鮮ではこのような大水と台風被害をこうむった罹災民をほったらかすことにより、数十名が命を失ったり、行方不明になったり、誰も彼らの運命について関心を払っていなかったことを想起させる必要がある。

今回の朝鮮労働党大会は中国をはじめとした東アジア諸国で新型コロナウイルスによる感染症の被害状況が特別に悪化している中で行われた。しかし、朝鮮民主主義人民共和国では隣国と南朝鮮とは異なり、自国の領土でこの病気に感染した人が一人もいない。これもやはり国家的に上部から下部まで確立した社会主義保健医療制度の優越性の発現であった。朝鮮民主主義人民共和国でウイルスの拡散がないことと関連してヨーロッパの専門家たちは労働党がとった防疫指示にたいする公民の高い責任性と信頼、軍隊でのように迅速に防疫体系を確立し維持したこと、全国に唯一的な消毒活動体系を確立したこと、などがウイルスとの戦いで勝利できた保証であったと述べている。

金正恩総書記は朝鮮労働党第8回大会の報告で、ウイルス感染症を防ぐための闘争で得た経験を総合し、保健医療部門の物質的・技術的土台が一層強固になり、世界的な大流行伝染病を予防するための先制かつ強力な非常防疫活動を通じて、衛生防疫部門に整然とした活動体系と土台が構築されたと述べた。

総書記は朝鮮が自力でいかなる大流行伝染病にも対処できるようにするために、今後、保健医療部門の前に提起される課題を示した。総書記は保健医療部門では、治療・予防機関と製薬および医療機器工場を改造する活動を着実に押し進め、保健医療従事者の陣容を固め、いかなる世界的な保健危機にも対処できる防疫基盤を強固に築かなければならないと述べた。

金正恩総書記は朝鮮労働党第8回大会の報告でまた、全社会の金日成・金正日主義化を実現し、社会主義制度の優越性をさらに高く発揮させて経済と文化、国防部門を発展させるための課題を提起した。

明白なことは、朝鮮労働党第8回大会が闡明した社会主義建設の計画が、金正日総書記の指導方式の特徴である逆境を順境に変えていく革命実践の連続であるということである。